
My School Life

poporo

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

My School Life

【コード】

N2016V

【作者名】

poporo

【あらすじ】

主人公・・・長瀬峻也

「マズイ・・・これは・・・ヤバいぞ・・・」
今、クラスみんなの視線が俺に向いている・・・爆笑している
やつもいるし・・・泣きたくなってきた。
どうしてこうなったかというと・・・

お昼休みの後の五時間目、それで国語で物語文の授業なんて眠くなるに決まってるじゃないですか。もちろん寝ます。教科書を前に立てて・・・はい、準備完了。おやすみなさい・・・
すぐに起こされました。はいそうですね。みんなが教科書寝かしてノートに板書しているのに一人だけ立ててたら目立ちますね。

・・・そこまではよかった。問題はここからだ。

寝ていた罰として立って音読をさせられた。まだ寝ぼけていたらしく、何も考えずに読んだ。そしたら、なぜか先生はチョークを落として呆然とし、クラスみんなは大爆笑。俺はどうしたのかわからない。自分の持っているものを指差されていたので見てみると、『巨乳祭り あの子のー』と書いてある通称『エロ本』だった。

「長瀬エ・・・後で職員室に来なさい・・・」

そして授業が終わる。

俺に近づいてくる野郎が三人。

「災難だったなあ〜峻也しゅんや」

「お前だろ！宮崎！俺の教科書にエロ本重ねたの！」

こいつは俺の悪友、「宮崎 宗太」何かと俺が職員室に呼ばれる原因を作るやつだ。

「え〜！あれって、そーちゃんがやったの!？」

このビックリしているやつは「相坂 耕太郎」普通な俺の友達だ。

「ドンマイだ。気を落とすな峻也。ホラ、これやるから。」

こいつは「長谷川 幸村」筋肉と武器のことしか考えていない。

今渡されたのは、スタンガン。

「オイ・・・幸村・・・これでどうしろと・・・?」

幸村は親指を立ててマツクの店員もビックリなキモいスマイルで

「やって来い!!」

「ふざけんなー!ー!ー!!」

この三人がいわば今の親しい友達である。

そして、時間がたち、PM7:25

その後、俺と宮崎（俺がやられたと言ってみたら先生が呼び出した）はこっぴどく怒られ、反省文を書いて下校したのであった。

「今日もこれでおわりだな。」

こんな毎日のスタートです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2016v/>

My School Life

2011年10月9日06時03分発行